

森林環境学習指導案

中 3 9 いわき市立田人中学校

1 学年・教科 1年 技術

2 単 元 名 生活に役立つものづくり（木工） 11時間

①「コースター」作り 4時間

②「本立て」作り 7時間

3 本時のねらい

○木を使って生活に役立つものづくりを行うにあたって、実際に学校林から切り出した間伐材を使ってコースターを製作することで、木の特性を知るとともに間伐の必要性を知る。

4 活動の流れ（コースター作り→本立て作り）

学 習 内 容	時間	教 師 の 支 援
1 森林の働きについて知っていることを話し合う。 ・保水と洪水の防止 ・木材としての活用 ・水の浄化	1	○小学校の理科等で学んだことや持っている知識を振り返らせ、
2 間伐材（ヒノキ）を見て感じたことを話し合う。 ・固い ・香りがいい		○木材が生活に役立つものであることに気づかせ
3 間伐の役割を理解する。		○間伐があることで木が良く育ち、材木として活用できるようになることを知らせ、間伐の重要性を理解させる。
4 身近な木材を使って作れるものを知る。 ①間伐材を使ったコースター ②集成材で作った本立て 等	1	○先輩が製作した木製コースターや本立てを見せ、木材で生活に役立つものを作ることを理解させる。 ○コースター作りを行うことで木の特性や道具の使い方に慣れさせる目的があること、また、その後に本立て作りを行うことを知らせ、活動への意欲を持たせる。
5 コースターの作り方を知る。 ①間伐材を切る ②道具を使って削る ③サンドペーパーで磨く ④焼き印を押す	2 <small>本時</small>	○コースター作りを通して、木の特性に慣れさせる。 ○コースター作りに使う道具とその使い方を説明し、製作の手順を理解させる。 ○木の特性を知り、道具の使い方を身につけることは、本立て作りに生きることを理解させる。
6 コースターを製作する。		○道具の使い方に注意させ、示した手順に合うようにコースターを作らせる。
7 本立てを製作する。	7	○木の特性をよく理解させた上で、生活に役立つものとしての本立て作りに臨ませる。



間伐材の切断



コースター作り



本立て作り ①



本立て作り ②



本立て作り ③